



ごあいさつ

盛夏の候 皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年度の日本経済は、米国政権の保護主義的政策や北朝鮮情勢の地政学リスクなどの懸念はあったものの雇用・所得環境の改善が続いたことから個人消費は底堅く推移し穏やかな回復基調となりました。

当地域では、事業所数の減少や歯止めのかからない人口減少及び高齢化、それに伴う労働力不足により、依然として厳しい状況が続いているものの、風力発電関連施設着工による将来に向けた新たなビジネス展開などに期待が高まっています。また、水産においてはホタテの生産が、爆弾低気圧の影響による大幅な減産から回復しました。観光においてもFDAチャーター機の継続運航などによる観光入込客数の増加は明るい材料となりました。

このような中、当金庫の業績は、業容の拡大や経営の健全性を高める諸施策を推進した結果、期中平均残高で預金は4,332億76百万円となり前期比2.31%増加しましたが、貸出金は一部金融機関向けが大きく減少し、848億97百万円となり前期比2.50%減少しました。

また、収益面では経常利益で10億85百万円、税引後の当期純利益は6億55百万円を確保することができました。剰余金の処分につきましては、自己資本充実のため、その大部分を特別積立金等で内部留保することといたしました。この剰余金処分の結果、会員勘定は503億89百万円（内、配当負担の無い利益剰余金は497億47百万円）となり、自己資本比率も54.04%と、極めて健全な経営体質を堅持しております。

今後も「地域との共存共栄」を掲げる信条の下、地域社会の発展に寄与すべく、役職員一同不断の経営努力を傾注して参る所存でございますので、何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月1日

理事長 **増田 雅俊**

CONTENTS [主な内容]

P 1	信条・マークコンセプト
P 2	金融仲介機能のベンチマーク
P 4	事業概況
P 8	自己資本
P 11	市場占有率

P 12	不良債権の状況
P 14	健全経営
P 16	総代会機能
P 19	相互意見交流
P 20	地域貢献・トピックス

《資料編》

P 24	第74期事業概況
P 41	自己資本の充実状況
P 54	事業のご案内
P 59	稚内しんきんの概要
P 62	索引